

釧路東部消防組合の沿革

年 月 日	事 項
S 49 / 4 / 1	<p>常備消防の設置を要する町村として国の指定を受け、厚岸町・浜中町・釧路村の2町1村による地方自治法上の一部事務組合を組織し、『釧路東部消防組合』を設立。</p> <p>厚岸町に消防本部及び消防署を置き、浜中町に浜中支署、釧路村に釧路支署を置く。</p> <p>消防団も消防組合の所轄となり各町村に存置する。</p> <p>初代管理者に厚岸町長村上忠次氏が就任する。</p> <p>初代副管理者に厚岸町助役千葉胤助氏が就任する。</p> <p>初代収入役に厚岸町収入役加賀勇氏が就任する。</p> <p>初代消防長に松見幸男氏が就任し、職員38名をもって業務を開始する。</p>
10 / 1	<p>釧路村セチリ太に釧路支署雪裡分遣所を設置する。</p>
50 / 7 / 1	<p>消防本部・消防署・厚岸消防団合同庁舎新築。（厚岸町松葉町4丁目）</p> <p>消防無線局【東消あつけし】を導入、合わせて救急業務を開始する。</p>
12 / 25	<p>釧路支署職員待機宿舍1棟4戸新築。（釧路町別保）</p> <p>浜中支署職員待機宿舍1棟4戸新築。（浜中町霧多布）</p>
52 / 7 / 1	<p>組合管理者に菅原邦夫氏が就任する。（二代目）</p>
53 / 12 / 25	<p>浜中支署茶内分遣所・浜中消防団第3分団庁舎新築。（浜中町茶内市街）</p>
54 / 12 / 25	<p>釧路支署雪裡分遣所・釧路消防団第5分団庁舎新築。（釧路町木場1丁目）</p> <p>消防署職員待機宿舍1棟4戸新築。（厚岸町松葉町4丁目）</p>
55 / 4 / 1	<p>『釧路村』が町制施行により『釧路町』となる。</p>
6 / 1	<p>釧路北部消防事務組合と消防相互応援協定を締結する。</p>
56 / 10 / 5	<p>組合副管理者に澤田昭夫氏が就任する。（二代目）</p>
11 / 25	<p>釧路支署職員待機宿舍1棟2戸新築。（釧路町別保・桂）</p>
57 / 1 / 29	<p>釧路市消防本部と消防相互応援協定を締結する。</p>
3 / 9	<p>根室北部消防事務組合と消防相互応援協定を締結する。</p>
7 / 23	<p>組合収入役に今村實氏が就任する。（二代目）</p>
58 / 10 / 1	<p>釧路西部消防組合と消防相互応援協定を締結する。</p>
10 / 3	<p>根室市消防本部と消防相互応援協定を締結する。</p>
59 / 4 / 1	<p>【釧路東部消防組合創立10周年】を迎える。</p>
61 / 9 / 30	<p>釧路支署職員待機宿舍1棟2戸新築。（釧路町セチリ太）</p>
12 / 20	<p>消防署上尾幌分遣所・厚岸消防団第3分団庁舎新築。（厚岸町上尾幌）</p>
63 / 4 / 1	<p>消防長に鈴木誠司氏が就任する。（二代目）</p>
7 / 4	<p>組合副管理者に今村實氏が就任する。（三代目）</p> <p>組合収入役に中川好一氏が就任する。（三代目）</p>
H 元 / 4 / 1	<p>釧路支署・浜中支署を『消防署』に昇格し、釧路消防署・浜中消防署に改め雪裡分遣所を『支署』に昇格し雪裡支署に、消防署を厚岸消防署とする。</p>
7 / 17	<p>組合管理者に澤田昭夫氏が就任する。（三代目）</p>

元／12／15	浜中消防署職員待機宿舎2棟新築（浜中町茶内）
3／2／13	北海道広域消防相互応援協定を締結する。
4／7／6	組合副管理者に鈴木英世氏が就任する。（四代目） 組合収入役に宮川晴二氏が就任する。（四代目）
11／30	浜中消防署・浜中消防団第1分団庁舎新築。（浜中町霧多布）
5／1／15	《釧路沖地震発生》震度6
6／9／4	【釧路東部消防組合創立20周年】記念式典挙行。（厚岸町社会福祉センター）
10／4	《北海道東方沖地震発生》震度6
7／8／22	緊急消防援助隊の消火隊として1隊登録する。
8／6／25	北海道消防防災ヘリコプター応援協定を締結する。
7／10	釧路消防署遠矢支署・第3分団庁舎新築。業務開始する。
10／1／27	釧路消防署雪裡支署に高規格救急車を配備・運用開始する。
1／29	厚岸消防署に高規格救急車を配備・運用開始する。
3／27	浜中消防署に高規格救急車を配備・運用開始する。
4／1	組合指示医療機関（市立釧路総合病院・町立厚岸病院・浜中診療所）と覚書を締結する。
12／24	組合収入役に君澤英二氏が就任する。（五代目）
11／4／1	消防長に佐藤 昇氏が就任する。（三代目）
12／4／1	組合消防団員の定年制を開始する。
4／22	3／31に噴火した有珠山災害に対し、北海道応援協定に基づく応援隊として消防ポンプ1台（隊員6名）伊達地区の警戒として派遣する。
13／3／29	釧路消防署に高規格救急車を配備・運用開始する。
4／1	消防長に深山 眞氏が就任する。（四代目）
7／19	組合管理者に若狭 靖氏が就任する。（四代目）
8／30	有珠山派遣活動により、北海道知事表彰を受ける。
14／9／26	組合副管理者に大沼 隆氏が就任する。（五代目）
10／1	組合収入役に黒田庄司氏が就任する。（六代目）
15／9／26	《十勝沖地震発生》震度6弱
16／4／1	【釧路東部消防組合創立30周年】を迎える。
11／29	《釧路沖地震発生》釧路町震度5強、厚岸町震度5弱
12／6	《根室半島南東沖地震発生》厚岸町震度5強、釧路町震度5弱
17／1／18	《釧路沖地震発生》厚岸町震度5強、釧路町震度4
11／15	携帯電話119番通報直接受信開始
18／3／31	条例改正により収入役制度廃止
4／1	消防長に黒田庄司氏が就任する。（五代目）
19／1／13	《千島列島地震》
3／31	釧路消防署・釧路消防団第1分団庁舎新築（釧路町字別保原野南25線）
7／1	釧路消防署と釧路消防署雪裡支署を統合し釧路消防署庁舎運用開始
20／2／1	救命士病院実習（挿管・薬剤）に関する協定書締結（市立釧路総合病院）

20/ 6/ 8	第14回全国女性消防団員活性化北海道大会参加（浜中消防団7名）
8/ 5	救命士病院実習（気管・薬剤）に関する協定書（孝仁会記念病院）
9/11	《十勝沖地震発生》警戒活動 職員80名・団員47名
21/ 6/29	第1回 道東ドクターヘリコプター運行調整委員会開催（釧路市）
21/10/ 3	道東ドクターヘリ運航開始に伴う就航式典（孝仁会記念病院）
22/ 1/28	《チリ沖地震による津波警戒活動》職員100名 団員187名
11/ 7	北海道・東北ブロック緊急消防援助隊合同訓練参加（福島県郡山市）2名
11/ 8	日本損害保険協会より軽四消防車両の贈呈式（釧路消防団第4分団）
23/ 3/11	《東日本大震災》14:46 M9.0 最大震度7（大津波警報他） 死者15,895人、行方不明者2,539人、負傷者6,156人 消防職員23人死亡、消防団員242人死亡
3/19	緊急消防援助隊北海道隊として（第3次隊から第12次隊）職員11名派遣 宮城県石巻市総合運動公園（北海道隊活動拠点）
24/ 3/14	《三陸沖地震による津波警戒活動》職員99名 団員45名
5/ 1	消防救急デジタル無線電波伝搬調査開始（委託事業）
6/22	全国消防長会総会（札幌市）北海道隊と緊急消防援助隊合同訓練
10/31	消防救急デジタル無線電波伝搬調査終了
25/ 2/ 2	《十勝沖地震警戒活動》職員87名 団員44名
2/ 6	《南太平洋沖地震に伴う津波警戒活動》職員54名 団員3名
4/ 1	消防長に常谷智晴氏が就任する。（六代目）
4/11	消防救急デジタル無線実施設計開始
7/ 1	釧路海上保安部との「潜水業務に関する覚書」締結
7/31	消防救急デジタル無線整備工事開始（各構成町毎工事開始）
10/11	北海道・東北ブロック緊急消防援助隊合同訓練参加（苫小牧市）5名
11/25	消防団120年・自治体消防65周年記念式典参加（東京都）
26/ 1/31	消防救急デジタル無線整備工事完了（2/1 併用運用開始）
5/25	【釧路東部消防組合創立40周年】記念式典挙行（厚岸町社会福祉センター）
10/ 9	北海道石油コンビナート等総合防災訓練参加（釧路市西港）
27/ 3/ 6	平成26年度消防庁長官表彰式（消防本部/浜中消防団表彰旗）（東京都）
28/ 3/ 9	平成27年度消防庁長官表彰式（厚岸消防団表彰旗）
4/ 1	消防長に佐田靖彦氏が就任する。（七代目）
6/ 3	第22回全国女性消防団員活性化北海道大会（浜中消防団9名）
7/14	消防本部・厚岸消防署庁舎建設事業建築工事開始
29/ 3/ 8	平成28年度消防庁長官表彰式（釧路消防団表彰旗）
6/30	消防本部・厚岸消防署庁舎建設事業完了
8/20	消防本部・厚岸消防署庁舎新築に伴う一般公開実施
9/ 1	消防本部・厚岸消防署新庁舎での業務開始
9/25	組合副管理者に會田周二氏が就任する。（六代目）
30/ 4/ 1	消防長に湊谷政弘氏が就任する。（八代目） 組合消防団協力事業所表示制度運用開始（7事業所認定）